

令和2年度 摂津市立味生小学校 第1回学校協議会 要点録

令和2年12月2日(水) 19:00~20:35

於：味生小学校 校長室

記録 清家 伸次(事務局:本校教頭)

1.委嘱及び自己紹介(今年度 委嘱委員は5名)

今西:校長は、少しでも早い学校協議会開催をめざし、何度か相談を受けた。できる時にできることをやろうと言ってきた。この会議では、無理なことを言うかもしれない。

伊波:味生小学校に自身も通い、味生小学校で大きくなった。現在、孫もお世話になっており、家族を励ましながらかん張る。

吉本:青少年指導員。ポスターの協力を感謝。今年度は様々な行事ができず残念に思う。

中井:新型コロナウイルス感染症でいろいろなことができないのが残念。子どもの様子を見てると元気に過ごしており安心している。一日も早い終息を願う。

前馬:教委事務局や校長を経て現在本校の学校経営サポーター。微力ながら、校長の支えになれるよう頑張りたい。

2.校長より挨拶

校長:三宅小学校で教職をスタートし、交流人事で吹田市の小学校も経験。味舌小学校、茨木市の白川小学校で教頭。教委事務局では、学校教育課や教育センターで勤務。今年度4月より味生小学校校長として着任。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業からのスタート。様々な制約がある中で、5月の分散登校を経て、6月より学校再開。味生小学校の児童のよりよい成長を願い、味生小学校への強い想いを抱いている。皆様とともに頑張りたい。

3.校長よりこれまでの教育活動について報告

校長:いつもとは違う流れでここまで教育活動を展開。何が正解かはわからない。しかし、他校に先駆けて取組みを行えるよう努めてきたところ。こんな時だからこそ、委員の皆様からのご意見を頂戴したい。ふりかえてみると、全校児童が揃って校歌を歌う機会が持っていない。「3密」を避け、各家庭には検温してからの登校を求める毎日。学校生活においてはマスクの着用が当たり前。こまめな換気にも配慮している。児童が毎日楽しみにしている給食もみんなで向かい合って食べることはなく、配膳を待つ児童はマスク姿。

今後、寒さが増し、インフルエンザなどの感染症にも注意が必要。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ソーシャルディスタンスを保つことや共有する物の使用を控えることなども含め、これまでの取組みを徹底したい。

ここまで、様々な教育活動ができなかった。水泳の授業は行えず、6年生の連合水泳大会も中止。校外学習も実施していない。家庭科においては、調理実習も控えている。それでも地域の皆様のご協力もあり、限られた範囲ではあるが、稲刈りなどの農業体験ができたことはよかった。

悩んだのは宿泊行事と運動会の実施。様々な制約の中、感染防止を徹底しながら実施。時期を例年とはずらすなどした。修学旅行はバスの台数を増やし、自然体験の内容を変更するなどしたが、平和学習や体験学習を行うことができた。林間学校も施設を変更するなど、実施が心配されたが、充実し

たものとなった。どちらも体調を崩しかけた児童がいたが回復し、無事帰阪した。2つの宿泊行事を通して、高学年としての自覚が生まれ、その後の教育活動に生かされていることは校長としてうれしい。運動会は、種目を減らし、観覧者の人数制限などを行い実施することにした。残念ながら当日は雨天により中止したが、後日「学年発表会」という形で保護者の皆様には見ていただくことができた。観覧マナーをきちんと守っていただいたことに感謝する。

その他の行事も例年とは違う形での実施。芸術鑑賞会(11/5 影絵)はいつもの2公演から3公演に。いつもお世話になっている3年生のダイキン工業淀川製作所の見学は、オンラインで行い、様々な質問にも答えていただいた。

この後、個人懇談会や校内図工展を予定しているが、これも実施時期を変更した。ここまで保護者の皆様にはご迷惑をおかけしたが、ご理解・ご協力に感謝。臨時休業時も家庭への働きかけを重視し、家庭訪問をきめ細かく行うなど、学校と家庭の連携強化に努めた。市教委の尽力でICT機器も導入され、それを活用しながら学習や行事を積極的に進めている。新しい生活様式の中で何ができるかを常に考え、教育の充実に努めたい。

4. 会長の選出

校長:今年度も今西さんに会長をお願いしたい。私が新任校長ということもあり、今までの流れを大切にしたい。

今西:私で力になれることはやらせていただく。いつもとは違う流れでここまで教育活動を展開。何が正解かはわからない。児童の様子が何か違うと感じた時に「どうしたん?」と大人から声かけられる地域にすることが大切。今回、委員もこれまで一緒に取り組んできた方々。校長の力になれるよう、味生小学校児童のため頑張りたい。

5. 学校経営の進捗状況

教頭:校内研究では、国語科を中心に言語活動の力を児童に育むべく研究を進めている。昨年度同様の単元学習を進めているが、他教科にもその手法を取り入れるように努めている。改めて学習指導要領の大切さや教科書をきちんと使用して教えることの大切さを強調しているところ。ご指導いただいている大学教授からは、今までの授業観にとらわれない授業を創ろうと励ましていただいている。

本校では「あたたかい心とことばのあふれる学校」づくりをめざしているが、どうすれば実現するかに日々悩んでいる。授業研究に努めているが、生徒指導をはじめ取り組むべき課題は数多くあるのも現状。委員の皆様からご意見いただきたい。

委員:学校教育目標はどうか実現したと言えるのか。わかりやすい言葉で表現した方が達成感も得られるのではないかと。

校長:たとえば「味生の4か条」などを設けたり、児童会目標を毎月設定したりしている。

委員:最近、中学校の授業を参観したが、今の授業は昔とずいぶん形態も違っている。ICT機器も使われているが、学ぶ力が本当についているかが問われる。

校長:本校でも積極的にiPadなどを活用している。便利だが、確かに何を学ぶかははっきりしておかねばならない。学んだことを活用できる力や、もっと学びたいという意欲を向上させたい。

委員:昨年、五中へ参観に行く機会があったが、廊下をはじめ校内が美しくなっていた。もちろん校務員の頑張りもあるがそれだけではできない。

委員:四中では「廊下を走らない!」というポスターがなくなっていた。その必要がなくなったという証拠では

ないか。

校長：先日四中へ伺う機会があったが、掃除道具もきちんと整頓されており、「負けた!」と思った。今、5年生が「掃除プロジェクト」という活動に取り組んでおり、掃除道具をきちんと片付けようと呼びかけ、少しずつ成果を上げている。環境の乱れは行動や心の乱れにもつながる。様々なところに気を配りたい。

6.協議・意見交流

校長：児童の地域での生活の中で、心配なことがいくつかある。その中で、自転車の乗り方は実際に事故も起きている。また、夜遅くまで道路や公園で遊んでいる児童がいると教えていただいたケースもある。「命」につながる重大な事案に至る恐れもあり、その防止のためにご意見をいただきたい。

委員：外で遊んでいるケースは少なくなっているのではないか。家でこもって頭を寄せ合ってゲームをしたり、オンラインでゲームをしたりしている。感染の心配もあるが、こもってしまうと周りからは見えない。

委員：登校中に、保護者から買い与えられたおにぎりか何かを食べている児童を見かけた。それは違うと誰か大人が言ってあげないといけない。

委員：孤食の問題とも関係する。

委員：できる限り、みんなで食べて欲しい。

委員：母親の作る一番美味しい料理が「カップヌードル」と答える児童がいるらしい。これを聞いて辛かった。

校長：「食べること」の大切さをどう伝えるかは重要な課題。食の教育は、「命の教育」。交通安全などの安全教育にもつながること。

委員：保護者が先に働きに出ているケースもあり、児童の安全確保が難しい場合もある。

委員：継続して、児童の安全について話をする必要がある。民生委員も含め、地域には学校とともに考えていただける協力者はたくさんいるのではないか。

委員：食の教育に当面力を入れて欲しい。

委員：給食も「会食」形式ではないので、目の前の食べ物大切さを意識させて欲しい。

校長：新しい生活様式の中で取り組めることを検討する。

委員：食べる楽しみの中から、健康・安全について考えさせて欲しい。

7.次回について

校長：第2回を令和3年1月13日(水)に実施したい。現在、学校評価のアンケートを保護者、児童、教職員を対象に実施しており、その集計を行い、評価をまとめた上で、皆様にご覧いただき、今年度の学校評価をしていただきたい。

委員：実施について承知した。できる限り、働き方改革の実施により、水曜日は一斉退勤と聞いた方がいいのか。

校長：管理職も対象ではあるが、振り返るなどして対応する。今日を含めて4回学校協議会を年度内に開催する予定。皆様、よろしく願いたい。